

「身体拘束ゼロに向けて」

～脱！全身予防着への取り組み～

(社)富士厚生会



シャローム富士川概要

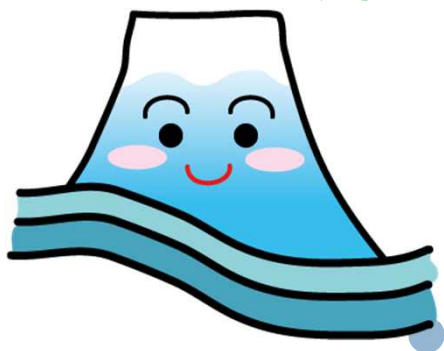
- 平成17年5月
(社)富士厚生会が静岡県富士市北松野
(旧富士川町)に新型特養施設として開設
- 入所80床・ショートステイ10床
計 90床
(2・3階に各5ユニット)
- デイサービス にこにこホーム 定員30名
- 居宅介護支援事業所

【施設目標】

- 安全・安心な暮らし
- ユニット型の定義である個別ケア
- 利用者さんが過ごされた
家庭の様な暮らし



マスコットキャラクター シャロ太郎



【入居者Aさまのプロフィール】

- 昭和9年1月生まれの78歳 男性
- 要介護度:5
- 認知症度:IV
- 寝たきり度:B2
- ご入所:平成19年10月
- ご趣味・特技:歌を歌う
- 性格:基本は温厚で優しい・感情の起伏が激しい
- 特記事項:弱視(光を感じる程度)
妄想あり・怒ることあり・介護拒否時折あり
- 排泄面:紙オムツ対応(日中・夜間とも)

【既往歴】

- 脳梗塞後遺症による左側の片麻痺
- 視覚の高次脳機能障害
- 老人性認知症
- 不眠症
- 便秘症
- 糖尿病
- 感染症 (C型肝炎)

【予防着着用の経緯】

- 褥瘡部分の治癒 のため。
- 自傷行為
不潔行為 を防ぐため、
全身予防着を着用して頂いた。

【取り組みまでの動き】

- ユニット目標 **“拘束ゼロ”** について検討
 - ◆皮膚の状態は?~医務との連携
軟膏の変更
治療のためにも、必要なこと?!

「治療も兼ねた取り組みになれば…」
“拘束ゼロ!”へ 踏み出す事に。

【脱! 全身予防着への取り組み】

1. 原因の考察

- ムシによる痒み
- 皮膚疾患

⇒痒みの軽減によって
自傷行為・不潔行為を防げる?!

【脱！全身予防着への取り組み】

2. 実践

- リハビリパンツの使用
- 清潔保持
ウォシュレット活用・清拭・陰部洗浄の徹底
- こまめな排泄介助

【Aさんの一日】

取り組みの前



取り組みの後



3. 脱・予防着 達成までの道のり



【取り組みの成果】

- 陰部洗浄、清拭の徹底
⇒ 不潔行為や痒みの軽減に繋がった
- 皮膚疾患の改善
- 痒み減少
⇒ ストレス緩和
危険行為の消失
- 身体機能の向上
⇒ 睡眠の質の向上
安定した立位、介助リスクの軽減
- 排便コントロールの成功

【取り組みの評価】

- 援助方法をユニット会議にて話し合い生活相談員や看護師など他職種のアドバイスも受けてサービスの質を向上させることに繋がり職員一丸で予防着の取り外しに取組めた。

【今後の課題】

- 日中に使用しているリハビリパンツを布製のパンツに移行できるように取り組む。
- 継続してケアの統一に努める。

拘束ゼロに向けて
今後も運動していきます！

